



東京ベイ通信

弁膜症外来のご紹介

弁膜症の治療について

弁膜症の根本治療には手術が必要ですが、高齢の症例が増えた現代では、様々な手法が選択可能です。例えば、開胸しない弁置換術「TAVI」は高齢者の大動脈弁狭窄症に有効な新しい治療です。しかし適応決定には、それぞれの症例の特性と希望を踏まえたハートチームでの多角的視点が求められています。当院のハートセンターは、「弁膜症外来」を入口の一つとして内科・外科が垣根を越えて議論を繰り返し、安全な医療を提供しています。

地域の先生方へ

弁膜症外来は、弁膜症症例を中心に先生方とハートチームを繋ぎます。心雑音や動悸・息切れでお困りの症例がいらっしゃいましたら、是非ご活用ください。



ハートセンター長

わたなべ ひろゆき
渡辺 弘之

担当曜日 (要予約)

火曜午後・水曜午後

不整脈外来のご紹介



循環器内科

まきはら ゆう
牧原 優

担当曜日 (要予約)

第1・3木曜の午後

当院では、これまでも上室性頻拍を中心にカテーテルアブレーションは施行しておりましたが、今回不整脈外来の開設に伴い、
【心房細動へのアブレーション】も実施できるようになりました。

心房細動の治療について

高齢化とともに患者数が増加している「心房細動」は、特に発作性において、薬物療法のみではなかなか発作頻度や動機症状のコントロールが難しいものでした。しかし、最近では、「薬物療法に難渋する症例に対して、カテーテルアブレーションが有意に発作の抑制へと作用する」と報告されており、当院でもその治療選択が可能となります。

地域の先生方へ

心房細動のほかにも、期外収縮を含めた頻脈性不整脈や徐脈頻脈症候群には、カテーテルアブレーションの適応がある可能性があります。不整脈を疑う症状や所見について、是非お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先

外来予約センター 047-351-3230 受付：平日 8:30～17:00

※医療機関の先生からのご予約の場合は地域医療連携室でも対応させていただきます。